

●総合データ

短答試験で合格推定点を超えている方全体の、短答と論文の「平均点」も計算してあります。これと、自分の短答・論文の得点を比較してみてください。

東京 SH0000 辰巳 太郎 様

下記合格推定点は、2013年本試験の実受験者数、短答合格者数、短答合格率の推計による合格ゾーンから出した点数です。

Table with columns: Total (1575点満点), 短答 (350点満点), 論文 (1400点満点). Rows include: 得点 (835.70), 得点率 (53.1%), 偏差値 (60.9), 全体順位 (377), 受験者数 (3,485), ランク (A).

●科目別得点 バランスチャート

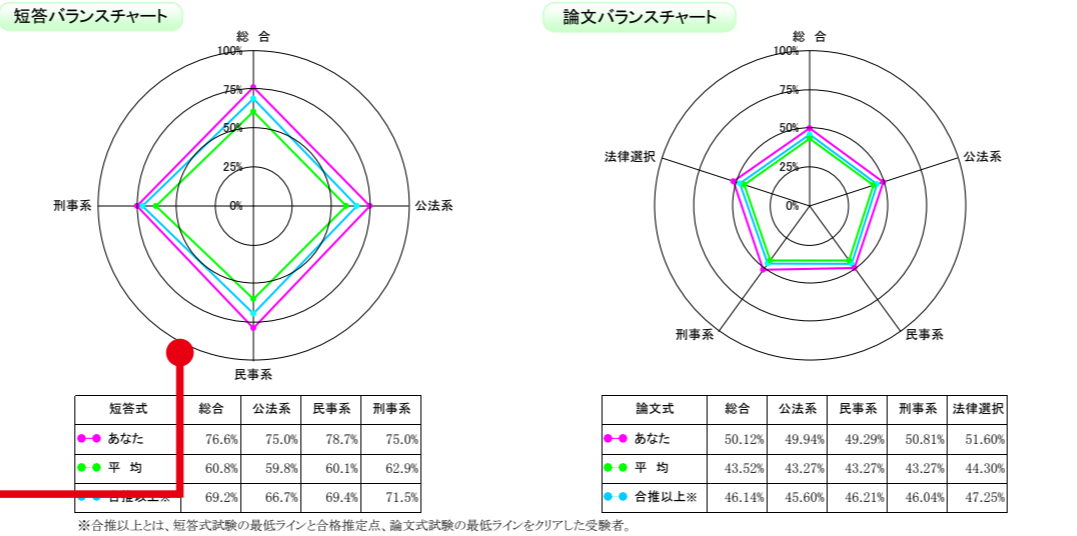
受験者平均及び合格推定点以上平均と比較できますので、あなたの得意科目・不得意科目が一目瞭然になります。

※1 新司法試験の総合評価は、以下の算式(1575点満点)で算出されます。算式 = (短答式試験の得点 × 1/2) + (論文式試験の得点 × 1/3) ※2 順位を基準に以下の通り判定されています。A: 上位20%以内、B: 20%~40%以内、C: 40%~60%以内、D: 60%~80%以内、E: 80%~ ※3 短答合格以上 = 短答式試験の合格推定点(最低ライン含む)と論文式試験の最低ラインをクリアした受験者。

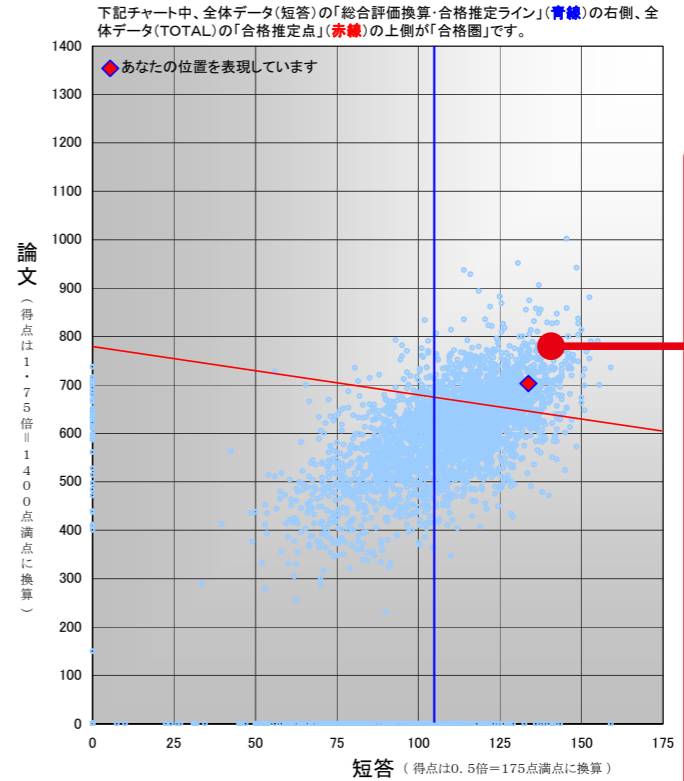
※司法試験 辰巳全国模試「個人成績表」・論文の「得点」についての注記

本試験では論文の「得点」について特殊な偏差をかけています。辰巳の模試もこれに倣い、標準偏差を用いた算式で算出してあり、お手元の別紙「採点・添削シート」の得点(素点)とは異なります。(本試験仕様) 詳しくは、別冊子「個人総合成績表の見方」をご覧ください。

科目別得点バランスチャート



総合評価バランスチャート



●総合成績 バランスチャート

短答得点を縦に、論文得点を横に直角に伸ばしていった赤い交点があるのがあなたの成績です。周りの薄いブルーの銀河系星雲のような点の集合が、今回の受験者全体を表します。縦に走る青い線が短答合格推定点。そして、斜めに走っている赤い線が、今回の総合合格推定点です。左の例では、個人の赤四角が合格推定ラインを超えていることを表現しています。

●短答・論文データ

科目毎の位置を視覚的に表現してあります。赤く塗ってある棒グラフがあなたの「得点率」です。満点の異なる科目同士を一目で比較検討できます。

Table for '短答' (Short Answer) with columns: Total (350), 公法系 (100), 民事系 (150), 刑事系 (100). Rows include: 得点率 (76.6%), 偏差値 (60.9), 全体順位 (256), 受験者数 (3,485), ランク (A), and a '得点率分布グラフ' (Bar chart showing scores for 憲法, 行政法, 融合, 民法, 商法, 民訴, 融合, 刑法, 刑訴, 融合).

Table for '論文' (Essay) with columns: Total (800), 公法系 (200), 民事系 (300), 刑事系 (200), 法律選択 (労働法) (100). Rows include: 得点率 (50.12%), 偏差値 (59.8), 全体順位 (468), 受験者数 (3,229), ランク (A), and a '得点率分布グラフ' (Bar chart showing scores for 第1問, 第2問, 第3問, 第1問, 第2問, 第1問, 第2問).